

平成27年度 事業計画

I 会員の生活を豊かにする活動

第40次岡山県老人福祉大学

- ・会場：岡山、倉敷、津山、高梁
- ・期間：6月～11月
- ・受講生：約900名（岡山市老連会員180を含む）
- ・テーマ：（予定）
 - ・「今、山田方谷から学ぶべきもの」（山陽学園大学 名誉教授 太田健一）
 - ・時事問題（フリー編集記者 猪木正実）
 - ・健康づくり（岡山県健康づくり財団 医師 發坂耕治）
 - ・「岡山のお天気と防災」（桃太郎からくり博物館 館長 住宅正人）
 - ・「落語と心のお勉強」説法漫談（桂米裕）

健康づくり支援事業

（1）県老連健康づくり推進委員会の開催

老連の行う健康づくり活動の支援・啓発について専門家を交え研究・協議し、方向性を示す。

- ・健康づくり推進委員会 委員18名 年1回開催

（2）健康づくり・介護予防事業（地域の元気づくり事業）

地域の高齢者、地域住民へも活動の輪を広げ、健康づくり・介護予防活動を一層推進し、地域の高齢者の健康寿命の延伸を図り地域全体を元気にするための事業を実施する。

① 県老連

- ・事業報告会の開催 年1回
- ・全老連健康づくり中央セミナーへの派遣 2名程度（神奈川県葉山町）

② 市町村老連

○ 健康づくり・介護予防事業（地域の元気づくり事業）

活動の中心は原則単位クラブとし、市町村老連は単位クラブでの活動が円滑に行われるよう指導、助言をおこなう。

- ・事業主体：市町村老連及び地域高齢者組織等
- ・実施主体：単位クラブ等団体
- ・実施箇所：7箇所
- ・委託対象事業例：健康づくり教室、スポーツ大会、料理教室、
体力測定等
- ・委託額 1ヶ所あたり10万円以内・単年

(3) 老人福祉大学での健康講座（再掲）

- ・開催場所：4会場（岡山、倉敷、高梁、津山）受講生 約900人

(4) ④地域包括ケア普及啓発事業（岡山県からの委託事業）

市町村が地域包括ケアシステムを構築することに伴い、市町村老連をはじめとする老人クラブの役員等に対し、生活支援や介護予防の意義等に関する研修会を開催し、理解を深めた受講者が地区老人クラブ会員や地域の高齢者に啓発等を行うことにより、社会参加や就労に対する意欲を持つ元気な高齢者を多様なサービスの担い手として育成するとともに、自発的に介護予防事業に参加する高齢者の増加を図る。

○地域包括ケア普及研修会

- ・実施時期：9月～11月
- ・会場：3会場（備前・備中・美作）各会場100名
- ・受講対象：市町村老連会長、副会長等の役員（10名程度）
市町村老連事務担当者

(5) 資材・教材等普及事業

老人クラブの実施する事業の適正化のため老人クラブ手帳、老人クラブ活動日誌、老人クラブ会計簿等の普及に努める。

(6) スポーツ大会開催事業

スポーツを通じて高齢者の健康の保持・増進、生きがいに努め、健康寿命の延伸を図るとともに参加者相互の親睦を図りお互いの絆を深めるためスポーツ大会を開催する。

- ・備前地区、備中地区、美作地区

II 地域を豊かにする社会活動

地域福祉支援活動推進事業

(1) 次世代育成支援事業（地域の元気づくり事業）

① 県老連

- ・次世代育成支援リーダー養成講習会（女性委員会総会と同日）年1回開催
- ・事業報告会 年1回

② 市町村老連

○次世代育成支援事業（地域の元気づくり事業）

- ・事業主体：市町村老連及び地域高齢者組織等
- ・実施主体：単位クラブ等団体
- ・実施箇所：7箇所
- ・委託対象事業例：見守り活動、安全パトロール、世代間交流、子育て相談等
：委託額 1ヶ所あたり10万円以内・単年

(2) 在宅福祉を支える友愛活動（地域の元気づくり事業）

① 県老連

○在宅福祉を支える友愛活動セミナー派遣

参加者2名程度（東京都・全社協会議室）

友愛活動事業報告会：年1回

② 市町村老連

○友愛活動（地域の元気づくり事業）

事業主体：市町村老連及び地域高齢者組織等

実施主体：単位クラブ等団体

実施箇所：6箇所

補助対象事業例：虚弱、一人暮らし、認知症の仲間等を支える友愛活動、
給食サービス、孤独死・高齢者虐待防止、声かけ運動など

補助額：1か所当たり5万円以内 単年補助

(3) 高齢者の安全・安心を支える活動

高齢者の暮らし安全、安心を守るため交通安全活動、特殊詐欺・悪質商法対策等防犯安全対策を推進する。

・ **高齢者の交通安全対策**

地域高齢者が交通事故にあわないようにするため、県警察とも連携し交通安全講習会等あらゆる機会を通じて安全意識の徹底をはかる。

・ 特殊詐欺・悪質商法等防犯安全対策

見守りサポーターも活用しながら、特殊詐欺・悪質商法など高齢消費者をめぐるトラブル防止のための活動。

(4) 全国一斉「社会奉仕の日」～きれいな地球を子どもたちへ～の推進

- ・ 9月20日全国一斉「社会奉仕の日」の取り組みと通年活動の推進。
- ・ 花のあるまち、ゴミのないまち運動、花いっぱい運動など

Ⅲ 組織・運営体制の確立

1 老人クラブ指導者の育成

地域を基礎とする高齢者の自主的組織である老人クラブにおいて、会員本位の自主的かつ民主的な運営が行われ、魅力あるクラブ活動となるよう、老人クラブ指導者等の育成研修を行う。

研修会事業

(1) 高齢者地域リーダー研修会

- ・ テーマ : 魅力あるクラブ運営・クラブ活動への取り組み
会員増強運動などについて
- ・ 実施時期 : 6月～10月(予定)
- ・ 会場 : 6会場(岡山、倉敷、津山、高梁、東備、美作) 600名
- ・ 受講対象 : 原則、単位クラブの会長、副会長と単位クラブの指導者として期待される者

市町村老連事務担当者、関係機関、高齢者団体のリーダー

- 第33回 都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央セミナー
6月1日(月)～2日(火) 東京都・全社協会議室 参加者2名程度
- 第44回 全国老人クラブ大会
10月28日(水)～29日(木) 静岡県静岡市
- 中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会
4月30日(木) 山口県 湯田温泉

(2) 女性リーダー研修会

- ・ 県老連女性リーダー研修会(小物づくり教室)
備前、備中、美作の3地区で実施
- 第27回全老連女性リーダーセミナー
11月19日(木)～20日(金) 東京・全社協会議室
参加者女性委員長他1名

- 都道府県・指定都市老連女性代表者会議

5月19日（火） 東京都・全社協会議室

第52回岡山県老人クラブ大会（岡山県総合社会福祉大会）

- ・10月8日（木）岡山市民会館

- ・参加者350名

第1部 式典

- ・岡山県知事表彰、保健福祉部長表彰

- ・県老連会長表彰（老人クラブ特別功労者・一般功労者、優良老人クラブ）

第2部 講演

老人クラブ活動推進事業

（1）会員加入促進事業

- 県老連

会員加入促進委員会の開催

委員 10名 年1回開催予定

- ・運動の成果分析及び運動方針の検討

～晴ればれシニア岡山「2万5千人会員増強運動」～

会員増強運動の期間、目標数値

- ・平成26年度～平成30年度の5年間2万5千人増強

- ・平成27年度スローガン 「さあ！やるぞ！会員増強2万5千人」

会員加入促進モデル単位クラブ表彰

- ・優良クラブの表彰と優良事例の紹介（研修会等で事例紹介）

- 市町村老連・単位クラブ等における会員加入促進体制の確立

全老連が提案している取り組み体制を参考に、市町村老連や単位クラブの実情に応じた取り組み体制や目標数値を設定する

- ・目標数値を定め、地域性に応じた会員加入運動の展開

（参考例）全老連の～老人クラブ「100万人会員増強運動」～

- ・いきいき生活応援優待利用証「楽・楽カード」の活用

会員に制度内容、趣旨を徹底しカードの利用を促進するとともに加入促進へつなげる。

（参考）岡山県老連若手委員会からの提言書（平成25年1月1日付）に基づき活動を展開する。

（2）全老連会長表彰

1）表彰

○ 全国老人クラブ大会表彰（再掲）

10月29日（木）静岡県静岡市

- ・全老連会長表彰

老人クラブ育成功労表彰

優良老人クラブ表彰

- ・活動賞（全老連会長表彰）

「仲間づくり活動部門」 加入促進の優良取り組み（老連、単位クラブ）

「健康づくり活動部門」 会員、地域の高齢者への健康づくり・介護予防活動の優良取り組み（老連、単位クラブ）

「ボランティア活動部門」

* 推薦枠 各部門ごと 1県あたり3団体

（3）広報活動

- ・機関紙「おかやま県老連だより『晴ればれシニア岡山』」の発行
年2回 50,000部/回
- ・県老連ホームページの充実等情報公開
- ・高齢者地域リーダー研修、老人福祉大学、老人クラブ大会などあらゆる機会を利用して広報活動（優良事例の紹介）をおこなう

（4）調査研究

- ・必要に応じ調査研究する

（5）全老連関係諸会議

- ・全老連評議員会
- ・都道府県・指定都市老連会長会議
- ・都道府県・指定都市老連事務局長会議

（6）市町村老連正・副会長会議

県下市町村老連の正副会長が一堂に会し、今日にふさわしい適切な活動と運営をいかに行うか等当面の課題につき研修、討議し、情報交換を行う。

- ・期日：28年2月（1泊2日）
- ・場所：瀬戸内市「岡山いこいの村」

（7）中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

- ・7月9日（木）～10日（金）（広島市）

- ・参加人員：約20名
- ・内容：基調報告 3分科会（活動事例発表等）

（8）市町村老連事務担当者会議

- ・28年2月

（9）正・副会長会議

（10）各種負担金

（法人運営・管理）

＜行政等関係機関、市町村老連、その他団体との連携＞

老人クラブ活動を円滑に推進するうえで、市町村行政、地域包括支援センターや社協、医師会、自治会連合会など関係機関団体との連携は重要である。

これら関係機関等とは、日ごろから連携を取り、活動への積極的な支援を得ながら進める。

＜情報公開への取り組み＞

より一層の業務運営の透明化、適正化に努め、積極的に情報公開を行う。

- ・県老連ホームページの充実

法人運営・管理

（1）評議員会

（2）理事会

（3）監査会（含シルバー基金監査）

運営委員会の開催

（1）シルバー基金運営委員会

- ・基金の有効活用についての研究
- ・基金の適正管理

（2）会長表彰選考委員会

（3）若手委員会